

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	交通安全自転車対策事業（放置自転車撤去）			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 4	-
【施策名】 道路・交通の整備	総合計画書 (ページ)	89	

予算名	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	事業 3 交通安全自転車対策事業
-----	---------	-----------	-----------	------------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 ・ 駅周辺の放置禁止区域に自転車を放置している利用者	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ・ 放置禁止区域内の放置自転車等の撤去台数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・ 駅周辺が安心安全な道路環境となる。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） ・ 放置禁止区域内の放置自転車等の撤去台数
	③ そのために何をしましたか。 ・ 駅周辺の放置禁止区域に放置されている自転車等の撤去の実施。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①撤去回数87回 ②撤去台数588台

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	台	1,101	1,321	588	
	成果指標	②の数値	台	1,101	1,321	588	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	放置禁止区域内の自転車等の撤去台数による				
活動指標	③の数値	①回 ②台	①37 ②242	①139 ②620	①87 ②588		

3 経費	事業費（実績）		円	506,277	1,165,860	1,785,240	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	506,227	1,165,860	1,785,240	
		特定財源	円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	1,186,800	1,335,600	2,192,400		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	1,693,077	2,501,460	3,977,640		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 放置自転車問題に伴う駅周辺の安全な通行の確保と美観、環境の維持及び自転車等の利用者のマナー向上のため、昭和57年に東大和市駅での撤去作業を初めとして、順次各駅にて実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成29年度中に市で管理していた無料の駐輪場を順次有料化した直後は、一部の駅周辺の駐輪場では、駐輪収容定数を上回る利用希望者がおり、その結果、駐輪場を利用できない自転車が路上等に放置される状況にあった。その後、駐輪収容定数（定期利用）の割増を行うなど、駐輪環境を改善した事や有料化の周知が浸透し、放置自転車の撤去台数が減少傾向にある。

仕 事 の 内 容	交通安全自転車対策事業（放置自転車撤去）			
担当部署・課長名	土木	課	交通安全対策	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置自転車の撤去台数は減少傾向にあるが、駐輪場の場所や利用方法がわからず路上に放置するケースも見られ、市民から放置自転車に関する事や、駐輪場の利用方法や空き待ち状況など様々な問合せがある。</li> <li>・通勤・通学の定期利用のように毎日は駐輪場を利用しないが、時々駐輪場を利用したい市民からの一時利用増設の要望が寄せられている。</li> </ul>

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員の放置自転車の撤去業務、撤去自転車の返還業務等の負担が大きい。</li> </ul>
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪収容定数（定期利用）の割増作業の実施。</li> <li>・市報等での駅周辺の放置禁止区域内での放置自転車の撤去の周知。</li> </ul>
---

(3)(2)を踏まえた今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場の定期利用と一時利用の需給バランスの見直し。</li> <li>・放置禁止区域内では放置自転車を撤去することの周知徹底。</li> </ul>

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の駐輪場利用者の利用状況から駅毎・駐輪場毎のニーズを的確に把握し、駐輪場を利用してもらうことにより、放置自転車の抑制を図る。</li> <li>・放置禁止区域内に放置された自転車は撤去することを自転車利用者に周知する。</li> <li>・放置を防ぐものとして、自転車等駐車場の案内板を各駅に設置する。</li> </ul>
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

駐輪場の管理運営事業者との定期的な協議や要請を適切に行うことと、駐輪指導員への指示の徹底を図る。	
--	--

(3)改革・改善案による期待成果
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------